



壇上であいさつをする本杉芳郎商工会長

商工会合併10周年を祝う

■牧之原市商工会合併10周年記念式典

平成20年に相良商工会と榛原商工会が合併してから10年がたちました。

それを記念した式典が1月11日におもてで開催され、市内の企業関係者や多くの来賓が出席し、合併10周年を祝いました。

式典では、本杉芳郎商工会長のあいさつをはじめ、多くの関係者から祝辞が贈られました。また、市内の優良従業員29人が永年勤続表彰され、本杉会長から代表者にそれぞれ賞状と記念品が贈られました。

子どもの健やかな成長を願って

■大鐘家つるし飾り展

片浜区の国指定重要文化財「大鐘家」で、つるし飾り展が5月中旬まで開かれています。

つるし飾りは、子どもの健やかな成長を願い、桃の節句のひな壇の両側にぬいぐるみをつるす風習で、別名「桃飾り」とも呼ばれています。

愛好家などが制作した作品約100点が展示され、訪れた人たちは、2メートルほどの高さからつるされたイヌやサルなどの動物や巾着、だるまといった縁起物をかたどった、色鮮やかなつるし飾りを楽しんでいました。



色鮮やかなつるし飾りを楽しむ来場者

体と頭を使って認知症予防

■第1回まきのほら健康大学

1月20日、まきのほら健康大学が、市史料館で開催され、約100人が参加しました。

1回目のテーマは「歩いていきいき！物忘れ改善の楽しいステップ」。講師の筑波大学の久保田大蔵准教授は「楽器演奏や囲碁、将棋といったボードゲーム、特にダンスなど体や頭を使うことが認知症対策に効果的」と説明しました。

また、参加者たちは大蔵准教授の指導のもと、認知症対策に効果がある、スクエアステップを体験しました。



スクエアステップを体験する参加者



個人の部で見事優勝した久保田さん

第9代「茶ンピオン」誕生

■TEA HERO選手権

第9回ティーヒーロー選手権決勝大会が1月13日、市史料館で開かれ、市内の各小学校から予選会を勝ち上がった5年生73人が出場しました。

特産品のお茶を、ゲーム感覚で知ってもらおうと、JAハイナン青壮年部が毎年開催。「深蒸し煎茶・普通煎茶・望・つゆひかり・釜炒り茶」を、色や香り、味を当てるなどして競いました。

個人の部は久保田新菜さん（川崎小）、団体の部では相良小学校（Cチーム）と萩間小学校が優勝しました。



大石地区長会長の音頭により静岡牧之原茶「望」で乾杯

今年一年さらなる発展を誓う

■平成30年牧之原市新春初顔合わせ会

新春初顔合わせ会が1月4日、うおともて開かれ市内の企業や団体の代表者、教育関係者ら約250人が出席しました。

会に先立ち、さまざまな分野で多年にわたり活躍され、市の発展に寄与された個人と団体に、表彰状や感謝状が贈られました。

杉本市長は「市の強みを発揮し、にぎわいの創出とともに、沿岸部や中心市街地の活性化につなげていきたい」と年頭のあいさつをしました。

出席者は、大石吉彦地区長会長の音頭により静岡牧之原茶「望」で乾杯をした後、お茶と市内菓子店自慢の御菓子を味わい、新年のあいさつを交わすとともに、抱負を語り合いました。

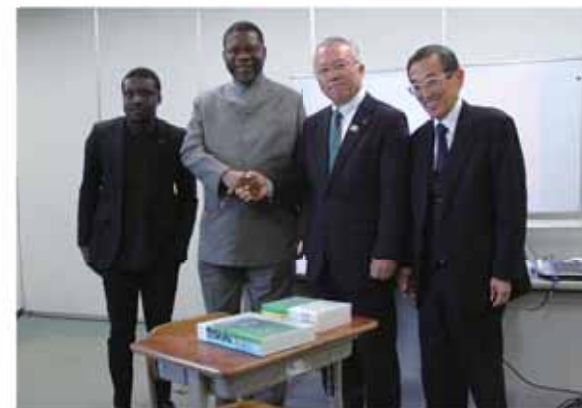
子どもたちの教育に役立てる

■ガーナ共和国へ机と椅子を寄贈

市では老朽化や教科書の大形化に伴い、小中学校の机と椅子の更新を進めており、不要になった260セットの机と椅子が、関係者の協力を得てガーナ共和国で再利用されることになりました。

ガーナ大使館のパーカー・アロテ特命全権大使は1月11日、榛原庁舎を訪れ「教育は国の発展や健康にとって大事。子どもたちの利益に直接つながる」と謝意を述べました。

寄贈した机と椅子は、平成29年12月にガーナへ向けて船便で出発し、2月上旬に到着予定です。



謝意を伝えるに訪れたパーカー大使（左から2人目）



手本を見ながら真剣に書く児童

一筆一筆丁寧に力強く

■書き初め大会

坂部小学校の書き初め大会が1月10日に行われ、全校生徒がこれまで練習を重ねてきた書き初めを清書しました。

書初めは1・2年生は各教室で、3年生から6年生は体育館全面を使い行われ、「新年の朝」や「春を望む」、「美しい雪」といった各学年の手本をもとに、一筆一筆丁寧に力強く書き上げました。

6年生の吉添美穂さんは、「練習ではうまく書けなかったけど、先生の教えもあって本番では一番納得のいく字が書けた」と話しました。

ズームイン！
カシャ！！



広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp